

人手不足に関する 現状調査結果について

本調査に関するお問合せ先
愛知県経営者協会 [内線 550]
総務・企画部 松永
会員サービス部 西村
Tel 052-221-1931 / Fax 052-221-1935

愛知県経営者協会（会長：大島 卓（日本ガイシ（株）代表取締役会長））は「人手不足に関する現状調査」を実施しました。少子高齢化が加速する中、コロナ禍によるモノ・サービスの供給・物流網の混乱にも直面した、愛知県の“人手不足”の現状について、会員企業約280社の回答により得られた調査結果をご報告いたします。

愛知県経営者協会は毎年、時宜に応じた人事労務分野のテーマを選定し、「研究委員会」として調査・研究活動をしております。2022年度は、現在の人手不足の実態を明らかにし、人口減少や産業構造の変化が加速する中で企業が持続的に成長するための「人材の確保と育成」をテーマに選定しました。

昨年度、研究委員メンバーで重ねてきた議論をベースに、成果のとりまとめを進めており、本調査結果も踏まえて2023年5月頃を目標に報告書の発刊を計画しております。

記

<「人手不足に関する現状調査」について>

■調査概要

調査期間	2023年2月3日～2月22日
調査対象企業	全会員：869社 回答のあった企業 281社（回答率 32.3%）、計304件
内訳（地域別）	名古屋：111件（全回答数の36.5%；以下同様）、 尾張（名古屋以外）：94件（30.9%）、三河：99件（32.6%）
内訳（業種別）	製造業：154件（50.7%）、非製造業：150件（49.3%）
内訳（規模別）	99人以下：61件（20.1%）、100～299人：92件（30.3%）、 300～999人：89件（29.3%）、1000人以上：62件（20.4%）

■調査結果（概要）

◇愛知県下の企業で、人材不足の状況を「不足している」「やや不足している」と回答した企業が全体の約8割に上った。あらゆる業種、職種で人材が足りない「人手不足」の状況が、データではっきりと示された。

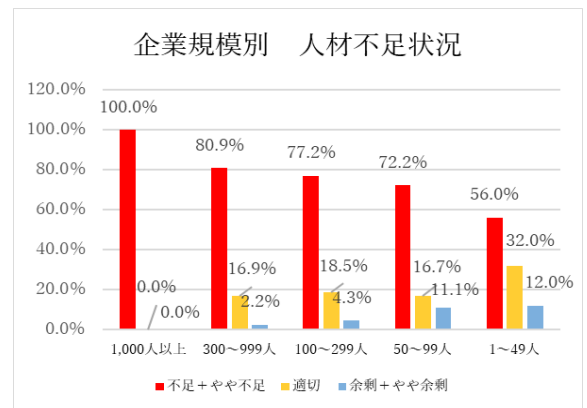
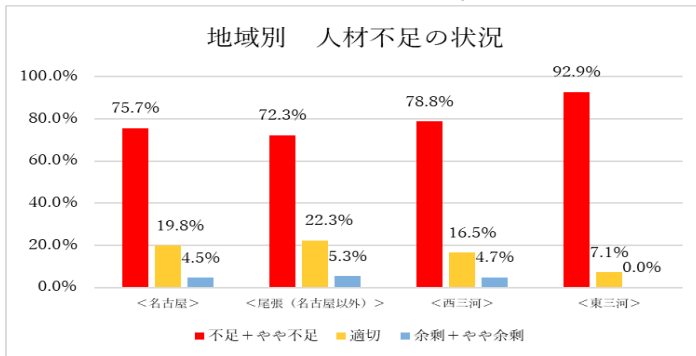
◇人材不足の状況をさらに細かく分けて見てみると、地域、規模、業種・職種の違いで人材の不足度合いの強弱等の特徴が見られる。

★詳細な調査結果については、[別紙](#)資料をご参照ください。

■調査結果（詳細）

◆会員企業の現在の“人手不足”について

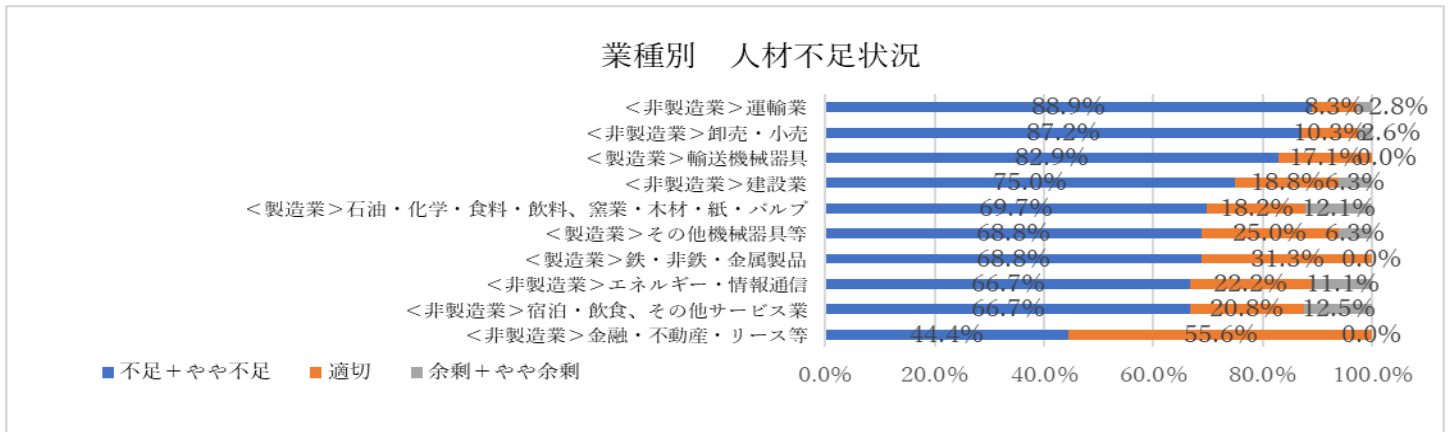
- ・「余剰感がある」「やや余剰感がある」「適切である」「やや不足している」「不足している」の5段階で回答を求めたところ、「不足」「やや不足」と回答した割合が全体の76.3%と、大変高い水準に達した。
- ・地域別に見ると、三河は「不足」「やや不足」と回答した企業の割合が80.8%と高い。特に東三河（14件）では「不足」「やや不足」が92.9%と最も高かった。
- ・規模別では、100人以上の企業は「不足」「やや不足」が概ね7割台後半と大変高くなっている。一方、99人以下の企業では不足度合いはそれよりは低くなり、規模が小さいほど不足感の度合いが和らぐ傾向にある。



◆業種別、職種別の人材不足について（下記グラフ参照）

・業種別

運輸、卸・小売、建設等の非製造業の不足感がより強い。製造業では輸送機械の不足感が特に強い。



・職種別

開発・設計・情報等、専門の技術者や、生産工程・建設等の技能者への不足感が強い。

